

指導例 2

SNS教育プログラム レッスン2 学習指導案

1 単元名 SNSを投稿する前に考えること

2 本時のねらい

SNSでのコミュニケーションを行う際に生じる相手との誤解や認識のズレに気付き、受け取る側の気持ちに配慮したコミュニケーションの在り方を考える。

3 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点
導入 (10分)	<スライド 11、12> ・前時の内容を確認する。 <スライド 13>	・以下の2点を再確認する。 ①自分と他人の物事のとらえ方や感じ方には違い（感覚のズレ）があること。 ②ネット上のコミュニケーション（テキストコミュニケーション）は対面のコミュニケーションとは異なること
	アイスブレーキング（グループ活動による） あなたが、クラスの友だちからされて「いやだな」と感じる順に番号をつけてみましょう	・本時のねらいである「リスクの見積もり」の準備として、SNS利用をテーマにアイスブレイクとしてグループ活動を行う。
展開 (30分)	<スライド 14、15> リスクの見積りトレーニング（グループ活動）	・ワークシートを配付し、以下の問い掛け、説明を行う。
	発問：ワークシートのSNSのやり取りを見て、その後を予想しよう。 また、その理由も考えよう。	・3つのケースの中からいくつかを選ばせるか、事前にどの班にどのケースを担当させるかを決めておいてもよい。 ・まず個人で考えさせ、その後4人グループで交流させる。 ・発表後にネット上に潜む様々なリスクを「情報モラル」と併せて確認しながら理解させるとよい。
	SNS上の会話 ネット上のコミュニケーション(テキストコミュニケーション)を示した3つのケースにおいて、予想されるリスクをグループで話し合う。 ・4人グループを作り、ワークシートのSNSでのやり取りを見て、まずは個人で考え、その後グループでその後の展開を予想する。	

指導例 2

	<予想される生徒の反応> ・コミュニケーションって難しい ・顔を見て話をした方が、気持ちが伝わりやすい ・テキストから判断するのは難しい ・結末は同じでも、理由が違う ・人によって価値観は違う ・直接話せていれば回避できるリスクでも、SNS上のやりとりでは、テンポが速いことに加え、短い文で、文字だけの会話になるため誤解や感じ方の違い(ズレ)が生じやすいことを再確認する。	<指導のポイント> ・意図の誤解や認識のズレが生じることを気付かせる。 ・ネット上のコミュニケーションにおけるリスクを再確認する。 ・簡単にコピー、瞬時に拡散 ・個人情報特定される ・完全に消えない
まとめ (10分)	<スライド 16、17> ・SNS投稿前 Check を確認する。 SNS上でコミュニケーションを図る際に常に意識すべき 8 つのチェック項目を生徒に確認する。	・SNS投稿前 Check を読み上げる。 <指導のポイント> ・SNSを利用する時には、投稿する前に、その投稿は「本当に問題ないか」自分で考えることが大切であること。 ・相手を思いやってコミュニケーションを図ることは重要なことであるが、一方でネット上のコミュニケーション(テキストコミュニケーション)の特性から、どんなに気を遣っても、トラブルは生じる可能性があることも理解させる。

- 4 教材 ワークシート「リスクの見積りトレーニング」
 ※出典：「SNSノート（情報モラル編）カード教材 こんなつもりじゃなかったのに」（LINE 株式会社）

5 実践するにあたって

(1) 概要

○ リスクの見積りトレーニング

- ・用意されている 3 つのケースすべてに取り組む必要はなく、グループ内でもっとも印象的なケースを選んで取り組ませるなど、生徒の実態に応じて柔軟に対応する。
- ・テキストコミュニケーションと対面のコミュニケーションの違いについて、生徒が体験をとおして気付くことを促す。
- ・仮想の SNS でのやりとりをとおして、個人およびグループでその後のリスクを予想させ、トラブルにならないための方法の最適解を求めさせる。

指導例 2

(2) 基本的なスタンス

- ・ 一番大切なことは、生徒がSNSにおけるトラブルを自分のこととして捉えることだが、単に怖がらせて終わりでは効果的とはいえない。SNSトラブルは、自分の振る舞い方で予防、回避できることを理解させる。
- ・ したがって、リスクの見積りトレーニングでは、いずれのケースにおいても、トラブルになるという前提（もしくはトラブルの芽が潜んでいるという前提）で臨むことが必要である。

(3) 工夫するとよい点

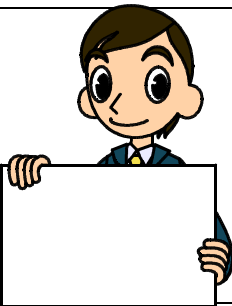
- ・ 意見を共有する時間を確保するとよい。
- ・ SNSに関して保護者とどのように話をしてきたかを確認してみてもよい。

「SNSを投稿する前に考えること」ワークシート

年 組 番 氏 名

【グループワークの進め方】

- ①5～6人程度のグループを作る
- ②進行係、発表係を決める
- ③右の絵のボードに役割（進行・発表）を記入する

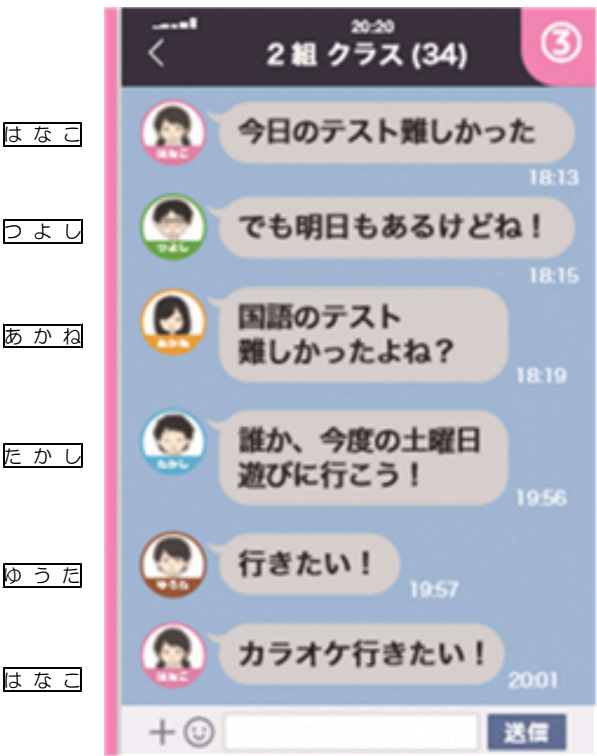


【 リスク見積もりトレーニング 】

Q 次の3つのケースについて、グループで話し合ってみよう

- ①まず、自分だけで予想されるリスクを①に書き出してみよう
- ②グループ内の、みんなの意見を聞いて②に書き込みましょう
- ③各グループの意見を発表係は発表する
- ④発表を聞いて、新たなリスクの発見があったら②に追加しよう

【 ケース1 】



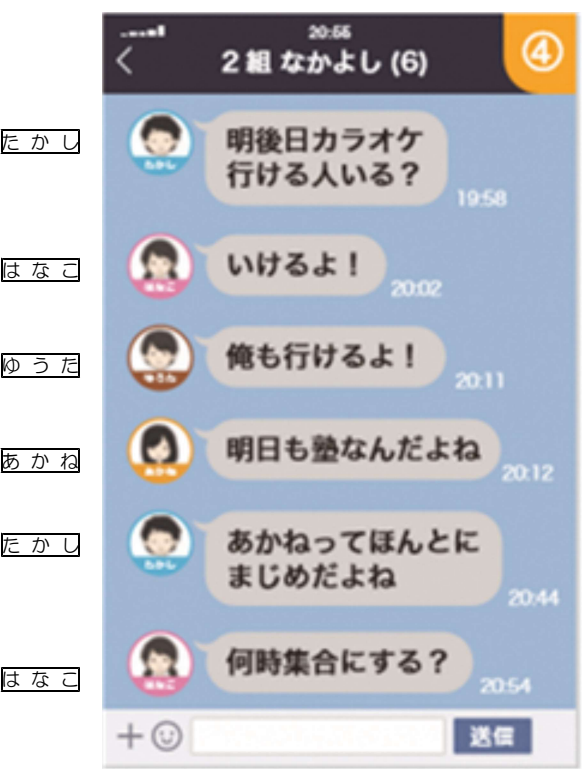
「予想されるリスクは？」

①自分の考え

②みんなの考え

※グループ構成メンバーや時間にも注目

【 ケース2 】



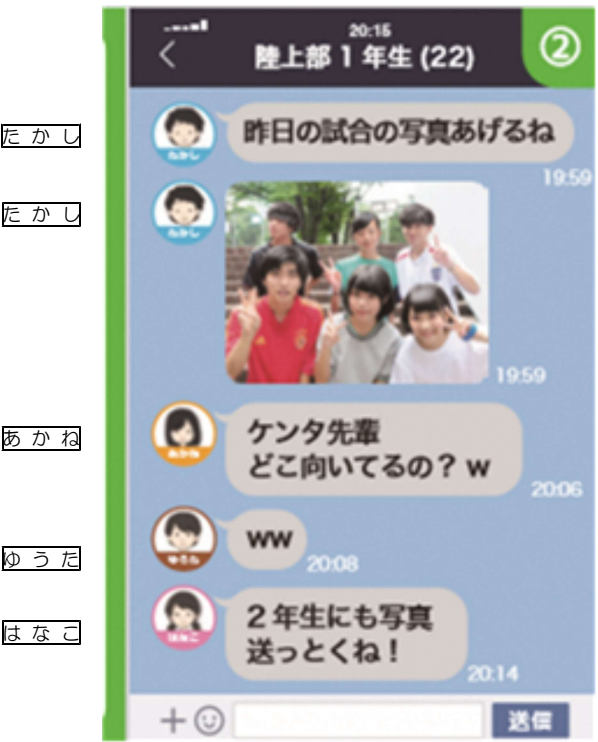
「予想されるリスクは？」

①自分の考え

②みんなの考え

※グループ構成メンバーや時間にも注目

【 ケース3 】



「予想されるリスクは？」

①自分の考え

②みんなの考え

※グループ構成メンバーや時間にも注目